

横浜市道路台帳区域線図データ

製品仕様書の解説書

平成28年3月

横浜市

目次

1. 概要	4
1.1. 概要	4
1.2. データ定義地物	4
2. 対象範囲	5
3. 参照系	5
4. 地物要件定義	6
4.1. 横浜市道路台帳道路区域線図データ集合パッケージ	6
4.1.1. 道路区域線	6
4.1.2. 道路区域線 (重複管理)	7
4.1.3. 道路区域線 (未確定)	8
4.1.4. 区域線距離	9
4.1.5. 区域線距離 (拡大)	10
4.1.6. 区域線距離 (重複管理)	11
4.1.7. 道路境界標 (公共座標)	12
4.1.8. 道路境界標 (任意座標)	14
4.1.9. 図上点 (公共座標)	16
4.1.10. 図上点 (任意座標)	18
4.1.11. 道路境界標番号	20
4.1.12. 道路境界標番号 (拡大)	21
4.1.13. 道路境界標間距離表示線	22
4.1.14. 道路境界標間距離	23
4.1.15. 道路境界標間距離 (拡大)	24
4.1.16. 引出線	25
4.1.17. 引出線 (拡大)	26
4.1.18. 道路・水路界	27
4.1.19. 道路・青地界	28
4.1.20. 水路・青地界	29
4.1.21. 道路・水道用地界	30
4.1.22. 道路内民地界	31
4.1.23. 重複管理区域界	32
4.1.24. その他境界	33
4.1.25. 都府県名	34
4.1.26. 市名	35
4.1.27. 区名	36
4.1.28. 町丁目名	37
4.1.29. 地番	38

4.1.30.	道路表記	39
4.1.31.	水路表記	40
4.1.32.	青地表記	41
4.1.33.	施設表記	42
4.1.34.	道路の路線名	43
4.1.35.	鉄道の路線名	44
4.1.36.	河川表記	45
4.1.37.	橋梁表記	46
4.1.38.	重複管理区域	47
4.1.39.	水道用地表記	48
4.1.40.	上空占有区域	49
4.1.41.	その他表記	50
4.1.42.	大図郭 (旧座標)	51
4.1.43.	小図郭 (旧図郭)	52
4.1.44.	大図郭 (新座標)	53
4.1.45.	小図郭 (新座標)	54
4.2.	区域線図滅失データ集合パッケージ	55
4.2.1.	滅失道路区域線	55
4.2.2.	滅失道路境界標 (公共座標)	56
4.2.3.	滅失道路境界標 (任意座標)	58
4.2.4.	滅失図上点 (公共座標)	60
4.2.5.	滅失図上点 (任意座標)	62
4.2.6.	滅失道路境界標間距離表示線	64
5.	定義域	65

1.概要

1.1.概要

本解説書は、「横浜市道路台帳区域線図データ製品仕様書（案）」に基づき作成するデータについて、その定義情報を示す資料である。

1.2.データ定義地物

本定義書で定義している地物は、以下のとおりである。

パッケージ	地物名称
横浜市道路台帳道路区域線図データ集合パッケージ	道路区域線
	道路区域線（重複管理）
	道路区域線（未確定）
	区域線距離
	区域線距離（拡大）
	区域線距離（重複管理）
	道路境界標（公共座標）
	道路境界標（任意座標）
	図上点（公共座標）
	図上点（任意座標）
	道路境界標番号
	道路境界標番号（拡大）
	道路境界標間距離表示線
	道路境界標間距離
	道路境界標間距離（拡大）
	引出線
	引出線（拡大）
	道路・水路界
	道路・青地界
	水路・青地界
	道路・水道用地界
	道路内民地界
	重複管理区域界
	その他境界
	都府県名
	市名
	区名
	町丁目名
	地番
	道路表記
	水路表記
	青地表記
	施設表記
	道路の路線名
	鉄道の路線名
	河川表記
	橋梁表記
	重複管理区域
	水道用地表記
	上空占用区域
	その他表記
	大図郭（旧座標）

パッケージ	地物名称
横浜市道路台帳道路区域線図データ集合パッケージ	小図郭（旧座標）
	大図郭（新座標）
	小図郭（新座標）
区域線図滅失データ集合パッケージ	滅失道路区域線
	滅失道路境界標（公共座標）
	滅失道路境界標（任意座標）
	滅失図上点（公共座標）
	滅失図上点（任意座標）
	滅失道路境界標間距離表示線

2.対象範囲

横浜市全域

3.参照系

座標系及び計測単位は、以下のとおりとする。

- 準拠する測地系：日本測地系 2011（Japanese Geodetic Datum 2011）
- 平面位置座標の種別：平面直角座標第IX系
（平成 14 年 1 月 10 日国土交通省告示第 9 号）
- 標高の基準：東京湾平均海面高 日本水準原点を基準とする高さ
- 単位：メートル（小数以下第 2 位）
- 空間座標の次元：2次元
- 時間の基準：日本標準時

4.地物要件定義

横浜市道路台帳区域線図データの各地物の要件定義を以下に示す。

4.1.横浜市道路台帳道路区域線図データ集合パッケージ

4.1.1.道路区域線

地物名称	道路区域線					
地物定義	道路法による道路の区域とその他の区域の境界線。					
原典資料	SHAPE (CSV) データ (初回整備：含む道路台帳区域線図)					
取得基準	道路の区域の境界を直線で取得する。GM_Curve の始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線に中間点は存在してはならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路の区域の境界線の形状。				線	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間 (開始)	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間 (終了)	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
長さ	両端の道路境界標または図上点の座標値から算出した道路区域線の長さ。単位はメートルとし、少数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。	数値	m	—	小数第2位	1
線番号	道路区域線と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。(例)010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 01040000099010410000100	文字	—	—	24桁	1
告示区分	道路区域線が決定された告示区分の種類。	文字	—	告示区分 Code	1桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.2.道路区域線（重複管理）

地物名称	道路区域線（重複管理）					
地物定義	道路内にある、重複管理区域の境界を表す線分のうち、道路区域線同様に、境界標、及び境界標間距離による管理が行われている線分。					
原典資料	SHAPE（CSV）データ（初回整備：含む道路台帳区域線図）					
取得基準	重複管理区域の境界を直線で取得する。GM_Curveの始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線（重複管理）に中間点は存在してはならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
形状	重複管理区域の境界線の形状。	線	1			
時間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在する最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在する最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
長さ	両端の道路境界標または図上点の座標値から算出した重複管理区域の境界線の長さ。単位はメートルとし、少数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。	数値	m	—	小数第2位	1
線番号	道路区域線（重複管理）と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。（例）010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ重複管理区域の境界線の場合 入力値： 010400000099010410000100	文字	—	—	24桁	1
告示区分	重複管理区域の境界線が決定された告示区分の種別。	文字	—	告示区分Code	1桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.3.道路区域線（未確定）

地物名称	道路区域線（未確定）					
地物定義	道路区域線が未確定である境界を表す線分。					
原典資料	SHAPE（CSV）データ（初回整備：含む道路台帳区域線図）					
取得基準	道路区域線が未確定である境界を直線で取得する。GM_Curveの始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線（未確定）に中間点は存在してはならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	未確定区域の境界線の形状。				線	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在する最初の年月日。年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在する最後の年月日。年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
長さ	両端の道路境界標または図上点の座標値から算出した未確定区域の境界線の長さ。単位はメートルとし、少数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。	数値	m	—	小数第2位	1
線番号	道路区域線（未確定）と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。（例）010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ未確定区域の境界線の場合 入力値： 010400000099010410000100	文字	—	—	24桁	1
告示区分	未確定区域の境界線が決定された告示区分の種別。	文字	—	告示区分Code	1桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.4. 区域線距離

地物名称	区域線距離					
地物定義	道路区域線の延長を表す文字列。					
原典資料	道路台帳区域線図					
取得基準	道路区域線の延長を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 1.0mm とする。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路区域線の延長を表す文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	道路区域線の延長を表す文字列。単位はメートルとし、小数第 4 位を切り捨て小数第 3 位を四捨五入した小数第 2 位までの値とする。	文字	m	—	小数第 2 位	1
文字列角度	道路区域線の延長を表す文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を 0°とし、反時計回りの角度）で入力する。原則、区域線の傾き角度に合わせる。	数値	—	—	—	1
線番号	道路区域線と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の 24byte で構成する。(例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 01040000099010410000100	文字	—	—	24 桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.5. 区域線距離（拡大）

地物名称	区域線距離（拡大）					
地物定義	道路区域線の延長を表す文字列。					
原典資料	道路台帳区域線図					
取得基準	道路区域線の延長を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/50 で表示した状態で、図上 2.0mm とする。					
空間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
形状	道路区域線の延長を表す文字列の位置。	点	1			
時間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	道路区域線の延長を表す文字列。単位はメートルとし、小数第 4 位を切り捨て小数第 3 位を四捨五入した小数第 2 位までの値とする。	文字	m	—	小数第 2 位	1
文字列角度	道路区域線の延長を表す文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を 0°とし、反時計回りの角度）で入力する。原則、区域線の傾き角度に合わせる。	数値	—	—	—	1
線番号	道路区域線と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の 24byte で構成する。（例）010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 01040000099010410000100	文字	—	—	24 桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.6. 区域線距離（重複管理）

地物名称	区域線距離（重複管理）					
地物定義	道路区域線（重複管理）の延長を表す文字列。					
原典資料	道路台帳区域線図					
取得基準	道路区域線（重複管理）の延長を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 1.0mm とする。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路区域線（重複管理）の延長を表す文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	道路区域線（重複管理）の延長を表す文字列。単位はメートルとし、小数第 4 位を切り捨て小数第 3 位を四捨五入した小数第 2 位までの値とする。	文字	m	—	小数第 2 位	1
文字列角度	道路区域線（重複管理）の延長を表す文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を 0°とし、反時計回りの角度）で入力する。原則、区域線の傾き角度に合わせる。	数値	—	—	—	1
線番号	道路区域線（重複管理）と区域線距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の 24byte で構成する。（例）010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線（重複管理）の場合 入力値： 01040000099010410000100	文字	—	—	24 桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.7.道路境界標（公共座標）

地物名称	道路境界標（公共座標）						
地物定義	道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有するもの。						
原典資料	SHAPE（CSV）データ（初回整備：含む道路台帳区域線図、素図、マイクロ、アクセス、補正完了簿）						
取得基準	道路境界の座標値を取得する。 GM_Pointの座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。						
空間属性							
属性名称	属性定義			データ型	個数		
形状	道路の区域の境界を示す点。			点	1		
時間属性							
属性名称	属性定義			データ型	個数		
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。			文字	1		
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。			文字	1		
告示日	道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。			文字	1		
完了月日	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。			文字	1		
境界標調査決裁日	道水路等境界標調査の決裁年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。			文字	1		
主題属性							
属性名称	属性定義		型	単位	値域	様式	個数
X座標	道路境界標の測量成果の X 座標。		実数	m	—	小数第3位	1
Y座標	道路境界標の測量成果の Y 座標。		実数	m	—	小数第3位	1
事業種別	道路境界標が設置された事業の種別。		文字	—	事業種別 Code	2桁	1
杭種	道路境界標の種別。		文字	—	杭種 Code	2桁	1
管理者	道路境界標の管理者		文字	—	管理者 Code	2桁	1
補正番号	道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2桁）で構成する。年度と通し場番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01		文字	—	—	—	1

境界調査簿冊番号	道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。 (例) 緑区、1冊、1号の場合 入力値：緑区1冊1号	文字	—	—	—	1
図面番号	道路台帳区域線図 1 図葉の図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号をハイフンで接続し、構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40 の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁	1
道路境界標番号	道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0詰め7桁とする。 (例) 番号99 の場合 入力値：0000099	文字	—	—	7桁	1
入力年度	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。 (例) 昭和63年度の場合 入力値：昭和63年度 (年度の値は半角数字とする)	文字	—	—	—	1
新図郭	道路台帳区域線図 1 図葉の新図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40 の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.8.道路境界標（任意座標）

地物名称	道路境界標（任意座標）						
地物定義	道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有さない任意座標のもの。						
原典資料	SHAPE（CSV）データ（初回整備：含む道路台帳区域線図、素図、マイクロ、アクセス）						
取得基準	道路境界の座標値を取得する。 GM_Pointの座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。						
空間属性							
属性名称	属性定義			データ型	個数		
形状	道路の区域の境界を示す点。			点	1		
時間属性							
属性名称	属性定義			データ型	個数		
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。			文字	1		
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。			文字	1		
告示日	道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。			文字	1		
完了月日	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とし、月日が不明の場合は、yyyy-00-00 とする。			文字	1		
境界標調査決裁日	道水路等境界標調査の決裁年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。			文字	1		
主題属性							
属性名称	属性定義		型	単位	値域	様式	個数
X座標	道路境界標の測量成果のX座標。		実数	m	—	小数第3位	1
Y座標	道路境界標の測量成果のY座標。		実数	m	—	小数第3位	1
事業種別	道路境界標が設置された事業の種別。		文字	—	事業種別 Code	2桁	1
杭種	道路境界標の種別。		文字	—	杭種 Code	2桁	1
管理者	道路境界標の管理者		文字	—	管理者 Code	2桁	1
補正番号	道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2桁）で構成する。年度と通し場番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01		文字	—	—	—	1

境界調査簿冊番号	道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。 (例) 緑区、1冊、1号の場合 入力値：緑区1冊1号	文字	—	—	—	1
点番号	道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0詰め6桁とし、頭にNを付与する。 (例) 番号99の場合 入力値：N000099	文字	—	—	7桁	1
図面番号	道路台帳区域線図1図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.9. 図上点（公共座標）

地物名称	図上点（公共座標）					
地物定義	道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、測量計算により求められたもの。道路境界標は設置されていない。公共測量成果を有する。					
原典資料	SHAPE（CSV）データ（初回整備：含む道路台帳区域線図、素図、アクセス）					
取得基準	図上点の座標値を取得する。 GM_Point の座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路の区域の境界を示す点。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
告示日	道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
完了月日	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とし、月日が不明の場合は、yyyy-00-00 とする。				文字	1
境界標調査決裁日	道水路等境界標調査の決裁年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
X 座標	図上点の測量成果の X 座標。	実数	m	—	小数第 3 位	1
Y 座標	図上点の測量成果の Y 座標。	実数	m	—	小数第 3 位	1
事業種別	道路境界標が設置された事業の種別。	文字	—	事業種別 Code	2 桁	1
管理者	道路境界標の管理者	文字	—	管理者 Code	2 桁	1
補正番号	道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2 桁）で構成する。年度と通し場番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01	文字	—	—	—	1

境界調査簿冊番号	道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。 (例) 緑区、1冊、1号の場合 入力値：緑区1冊1号	文字	—	—	—	1
図面番号	道路台帳区域線図 1 図葉の図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40 の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁	1
道路境界標番号	折れ点を識別するための番号。番号は先頭0 詰め7桁とする。 (例) 番号99 の場合 入力値：0000099	文字	—	—	7桁	1
入力年度	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。 (例) 昭和63年度の場合 入力値：昭和63年度 (年度の値は半角数字とする)	文字	—	—	—	1
新図郭	道路台帳区域線図 1 図葉の新図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40 の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.10. 図上点（任意座標）

地物名称	図上点（任意座標）					
地物定義	道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、公共測量座標を有さない任意座標のもの。道路境界標は設置されていない。					
原典資料	SHAPE（CSV）データ（初回整備：含む道路台帳区域線図、素図、マイクロ、アクセス、補正完了簿）					
取得基準	図上点の座標値を取得する。 GM_Point の座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路の区域の境界を示す点。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
告示日	道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
完了月日	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とし、月日が不明の場合は、yyyy-00-00 とする。				文字	1
境界標調査決裁日	道水路等境界標調査の決裁年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
X 座標	図上点の測量成果の X 座標。	実数	m	—	小数第 3 位	1
Y 座標	図上点の測量成果の Y 座標。	実数	m	—	小数第 3 位	1
事業種別	道路境界標が設置された事業の種別。	文字	—	事業種別 Code	2 桁	1
管理者	道路境界標の管理者	文字	—	管理者 Code	2 桁	1
補正番号	道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2 桁）で構成する。年度と通し場番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成 22 年度、通し番号 1 の場合 入力値：緑 22-01	文字	—	—	—	1

境界調査簿冊番号	道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。 (例) 緑区、1冊、1号の場合 入力値：緑区1冊1号	文字	—	—	—	1
点番号	折れ点を識別するための番号。番号は先頭0詰め6桁とし、頭にNを付与する。 (例) 番号99の場合 入力値：N000099	文字	—	—	7桁	1
図面番号	道路台帳区域線図1図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.11.道路境界標番号

地物名称	道路境界標番号					
地物定義	道路境界標または図上点を識別するための番号を表す文字列。					
原典資料	SHAPE (CSV) データ (初回整備：道路台帳区域線図)					
取得基準	道路境界標番号の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 1.0 mm とする。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路境界標番号の文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間 (開始)	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間 (終了)	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
道路境界標番号	公共座標を有する道路境界標または図上点を識別するための番号。 (例) 番号 99 の場合 入力値：99	文字	—	—	7 桁	1
文字列角度	道路境界標番号の文字列の表示角度。 角度は数学座標 (水平右方向を 0° とし、反時計回りの角度) で入力する。	実数	—	—	—	1
図面番号	道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：010、小メッシュ番号：40 の場合 入力値：01040	文字	—	—	5 桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.12.道路境界標番号（拡大）

地物名称	道路境界標番号（拡大）					
地物定義	道路境界標または図上点を識別するための番号を表す文字列。					
原典資料	SHAPE（CSV）データ（初回整備：道路台帳区域線図）					
取得基準	道路境界標番号の文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/50 で表示した状態で、図上 2.0 mm とする。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路境界標番号の文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
道路境界標番号	公共座標を有する道路境界標または図上点を識別するための番号。 (例) 番号 99 の場合 入力値：99	文字	—	—	7 桁	1
文字列角度	道路境界標番号の文字列の表示角度。 角度は数学座標（水平右方向を 0° とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
図面番号	道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：010、小メッシュ番号：40 の場合 入力値：01040	文字	—	—	5 桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.13.道路境界標間距離表示線

地物名称	道路境界標間距離表示線					
地物定義	2つの道路境界標を結ぶ直線。					
原典資料	SHAPE (CSV) データ ((初回整備：含む道路台帳区域線図、素図))					
取得基準	2つの道路境界標または図上点を結ぶ直線を取得する。 GM_Curve の始点および終点の座標は、道路境界標または図上点の座標と一致しなければならない。また、道路境界標間距離表示線に中間点は存在してはならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	2つの道路境界標または図上点を結ぶ直線の形状。				線	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間 (開始)	オブジェクトが存在する最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間 (終了)	オブジェクトが存在する最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
長さ	両端の道路境界標または図上点の座標値から算出した道路境界標間距離表示線の長さ。単位はメートルとし、小数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。	実数	m	—	小数第2位	1
線番号	道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。(例) 010-40の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路境界標間距離表示線の場合 入力値： 010400000099010410000100	文字	—	—	24桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.14.道路境界標間距離

地物名称	道路境界標間距離					
地物定義	道路境界標間距離を表す文字列。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	道路境界標間距離を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 1.0 mm とする。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路境界標間距離を表す文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	道路境界標間距離を表す文字列。	文字	—	—	小数第 2 位	1
文字列角度	道路境界標間距離を表す文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を 0° とし、反時計回りの角度）で入力する。原則、区域線の傾き角度に合わせる。	実数	—	—	—	1
線番号	道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の 24byte で構成する。(例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100	文字	—	—	24 桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.15.道路境界標間距離（拡大）

地物名称	道路境界標間距離（拡大）					
地物定義	道路境界標間距離を表す文字列。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	道路境界標間距離を表す文字列を内包する最小面積の長方形底辺の中心座標値を取得する。なお、表示する文字列の高さは縮尺 1/50 で表示した状態で、図上 2.0 mm とする。					
空間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
形状	道路境界標間距離を表す文字列の位置。	点	1			
時間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	道路境界標間距離を表す文字列。	文字	—	—	小数第 2 位	1
文字列角度	道路境界標間距離を表す文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を 0°とし、反時計回りの角度）で入力する。原則、区域線の傾き角度に合わせる。	実数	—	—	—	1
線番号	道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関係させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の 24byte で構成する。（例）010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100	文字	—	—	24 桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.16.引出線

地物名称	引出線					
地物定義	区域線距離、道路境界標間距離、道路境界標番号、注記等を偏心させて表示する場合に用いる引出線。					
原典資料	道路台帳区域線図					
取得基準	引出線の位置を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	引出線の形状。				線	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
線番号	引出線と道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線の属性「線番号」の値とする。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。(例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100 道路境界標番号の場合は NULL とする。	文字	—	—	24 桁	1
道路境界標番号	引出線と道路境界標もしくは図上点、注記等とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路境界標もしくは図上点の属性「道路境界標番号」の値とする。注記の場合は NULL とする。	文字	—	—	7 桁	1
図面番号	道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：010、小メッシュ番号：40 の場合 入力値：01040	文字	—	—	5 桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.17.引出線（拡大）

地物名称	引出線（拡大）					
地物定義	区域線距離（拡大）、道路境界標間距離（拡大）、道路境界標番号（拡大）を偏心させて表示する場合に用いる引出線。					
原典資料	道路台帳区域線図					
取得基準	引出線の位置を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
形状	引出線の形状。	線	1			
時間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在する最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在する最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
線番号	引出線と道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路区域線もしくは道路境界標間距離表示線の属性「線番号」の値とする。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の 24byte で構成する。(例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号 99 と 010-41 の図郭にある 100 を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100 道路境界標番号の場合は NULL とする。	文字	—	—	24 桁	1
道路境界標番号	引出線と道路境界標もしくは図上点、注記等とを関連させるための番号。インスタンスと関連する道路境界標もしくは図上点の属性「道路境界標番号」の値とする。注記の場合は NULL とする。	文字	—	—	7 桁	1
図面番号	道路台帳区域線図 1 図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。(例) 大メッシュ番号：010、小メッシュ番号：40 の場合 入力値：01040	文字	—	—	5 桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.18.道路・水路界

地物名称	道路・水路界					
地物定義	道路と水路の境界を表す線分。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	道路台帳区域線図に描画されている道路と水路の境界を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路と水路の境界の形状。				線	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
—	—	—	—	—	—	—
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.19.道路・青地界

地物名称	道路・青地界					
地物定義	道路と青地の境界を表す線分。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	道路台帳区域線図に描画されている道路と青地の境界を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路と青地の境界の形状。				線	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
—	—	—	—	—	—	—
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.20.水路・青地界

地物名称	水路・青地界					
地物定義	水路と青地の境界を表す線分。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	道路台帳区域線図に描画されている水路と青地の境界を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	水路と青地の境界の形状。				線	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
—	—	—	—	—	—	—
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.21.道路・水道用地界

地物名称	道路・水道用地界					
地物定義	道路と水道用地の境界を表す線分。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	道路台帳区域線図に描画されている道路と水道用地の境界を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路と水道用地の境界の形状。				線	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
—	—	—	—	—	—	—
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.22.道路内民地界

地物名称	道路内民地界					
地物定義	道路内にある、道路と民地と境界を表す線分。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	道路台帳区域線図に描画されている道路内民地界を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路内民地界の形状。				線	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在する最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在する最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
—	—	—	—	—	—	—
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.23.重複管理区域界

地物名称	重複管理区域界					
地物定義	道路内にある、重複管理区域の境界を表す線分のうち、境界標、及び距離数値の記載がない線分。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	道路台帳区域線図に描画されている重複管理区域界を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	重複管理区域界の形状。				線	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
—	—	—	—	—	—	—
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.24.その他境界

地物名称	その他境界					
地物定義	その他の境界を表す線分。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	道路台帳区域線図に描画されているその他の境界を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	その他の境界の形状。				線	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
—	—	—	—	—	—	—
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.25.都府県名

地物名称	都府県名					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの都名。					
原典資料	都市計画課の地形図データ（初回整備：道路台帳区域線図）					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 9.0 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.26.市名

地物名称	市名					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの市名。					
原典資料	都市計画課の地形図データ（初回整備：道路台帳区域線図）					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 9.0 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在する最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在する最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.27.区名

地物名称	区名					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの区名。					
原典資料	都市計画課の地形図データ（初回整備：道路台帳区域線図）					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 9.0 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.28.町丁目名

地物名称	町丁目名					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの町丁目名。					
原典資料	都市計画課の地形図データ（初回整備：道路台帳区域線図）					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 6 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を 0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.29.地番

地物名称	地番					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの地番。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 2 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を 0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.30.道路表記

地物名称	道路表記					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの道路区域であることの表記。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を 0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.31.水路表記

地物名称	水路表記					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの水路区域であることの表記。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mm とする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を 0° とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.32.青地表記

地物名称	青地表記					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの青地域域であることの表記。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.33.施設表記

地物名称	施設表記					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの施設であることの表記。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.34.道路の路線名

地物名称	道路の路線名					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの道路の路線名であることの表記。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3.5 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.35. 鉄道の路線名

地物名称	鉄道の路線名					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの鉄道の路線名であることの表記。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3.5 mm とする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を 0° とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.36.河川表記

地物名称	河川表記					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの河川名称であることの表記。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 4 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.37.橋梁表記

地物名称	橋梁表記					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの橋梁名称であることの表記。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.38.重複管理区域

地物名称	重複管理区域					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの重複管理区域であることの表記。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.39.水道用地表記

地物名称	水道用地表記					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの水道用地であることの表記。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.40.上空占有区域

地物名称	上空占有区域					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうちの上空占有区域であることの表記。					
原典資料	素図または道路台帳区域線図					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 表示する文字列の高さは縮尺 1/500 で表示した状態で、図上 3 mmとする。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在する最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在する最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.41.その他表記

地物名称	その他表記					
地物定義	道路台帳区域線図に表示する注記のうち、挙げられていないその他の表記。					
原典資料	—					
取得基準	注記文字列を内包する最小面積の長方形の中心の座標値を取得する。 縦書きの表示文字列は横書きに置き換えるものとする					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	注記文字列の位置。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
表示文字	注記の文字列。	文字	—	—	—	1
文字列角度	注記文字列の表示角度。角度は数学座標（水平右方向を0°とし、反時計回りの角度）で入力する。	実数	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.42.大図郭（旧座標）

地物名称	大図郭（旧座標）					
地物定義	道路台帳図の世界測地系への移行前に、日本測地系で作成されていた図郭（大図郭）。					
原典資料	素図または平面図または道路台帳区域線図					
取得基準	1 図葉の範囲を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路台帳図 1 図葉の範囲。				面	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在する最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在する最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
大図郭番号	道路台帳図 1 図葉（大図郭番号）の番号。 （例）大図郭番号：10 の場合 入力値：10	文字	—	—	1～3 桁	1
国土基本図図郭番号	平面直角座標系に基づき区切られた図郭。 （例）9 系 LD531 の場合 入力値：LD53-1	文字	—	—	6 桁	1
大図郭名	道路台帳図 1 図葉（大図郭）の名称。 （例）大図郭名称：美しが丘西の場合 入力値：美しが丘西	文字	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.43.小図郭（旧図郭）

地物名称	小図郭（旧図郭）					
地物定義	道路台帳図の世界測地系への移行前に、日本測地系で作成されていた図郭（小図郭）。					
原典資料	素図または平面図または道路台帳区域線図					
取得基準	1 図葉の範囲を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路台帳図 1 図葉の範囲。				面	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在する最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在する最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
大図郭番号	道路台帳図 1 図葉（大図郭番号）の番号。 （例）大図郭番号：10 の場合 入力値：10	文字	—	—	1～3 桁	1
国土基本図図郭番号	平面直角座標系に基づき区切られた図郭。 （例）9 系 LD531 の場合 入力値：LD53-1	文字	—	—	6 桁	1
小図郭番号	道路台帳図 1 図葉（小図郭番号） （例）小図郭番号：40 の場合 入力値：40	文字	—	—	1～2 桁	1
図郭番号	道路台帳図 1 図葉の番号。大図郭番号と小図郭番号で構成する。 （例）大図郭番号：10、小図郭番号：40 の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3～6 桁	1
大図郭名	道路台帳図 1 図葉（大図郭）の名称。 （例）大図郭名称：美しが丘西の場合 入力値：美しが丘西	文字	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.44.大図郭（新座標）

地物名称	大図郭（新座標）					
地物定義	道路台帳図の世界測地系への移行後に、切り直した図郭（大図郭）。					
原典資料	素図または平面図または道路台帳区域線図					
取得基準	1 図葉の範囲を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路台帳図 1 図葉（大図郭）の範囲。				面	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在する最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在する最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
大図郭番号	道路台帳図 1 図葉（大図郭番号）の番号。 （例）大図郭番号：10 の場合 入力値：10	文字	—	—	1～3 桁	1
国土基本図図郭番号	平面直角座標系に基づき区切られた図郭。 （例）9 系 LD531 の場合 入力値：LD53-1	文字	—	—	6 桁	1
大図郭名	道路台帳図 1 図葉（大図郭）の名称。 （例）大図郭名称：美しが丘西の場合 入力値：美しが丘西	文字	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.1.45.小図郭（新座標）

地物名称	小図郭（新座標）					
地物定義	道路台帳図の世界測地系への移行後に、切り直した図郭（小図郭）。					
原典資料	素図または平面図または道路台帳区域線図					
取得基準	1 図葉の範囲を取得する。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路台帳図 1 図葉（小図郭）の範囲。				面	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在する最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在する最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
大図郭番号	道路台帳図 1 図葉（大図郭番号）の番号。 （例）大図郭番号：10 の場合 入力値：10	文字	—	—	1～3 桁	1
国土基本図図郭番号	平面直角座標系に基づき区切られた図郭。 （例）9 系 LD531 の場合 入力値：LD53-1	文字	—	—	6 桁	1
小図郭番号	道路台帳図 1 図葉（小図郭番号） （例）小図郭番号：40 の場合 入力値：40	文字	—	—	1～2 桁	1
図郭番号	道路台帳図 1 図葉の番号。大図郭番号と小図郭番号で構成する。 （例）大図郭番号：10、小図郭番号：40 の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3～6 桁	1
大図郭名	道路台帳図 1 図葉（大図郭）の名称。 （例）大図郭名称：美しが丘西の場合 入力値：美しが丘西	文字	—	—	—	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.2.区域線図滅失データ集合パッケージ

4.2.1.滅失道路区域線

地物名称	滅失道路区域線					
地物定義	滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界線。					
原典資料	SHAPE (CSV) データ					
取得基準	道路の区域の境界を直線で取得する。 GM_Curve の始点および終点の座標の値は、道路境界標または図上点の座標の値と一致しなければならない。また、道路区域線に中間点は存在してはならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
形状	道路の区域の境界線の形状。	線	1			
時間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
データ有効期間 (開始)	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
データ有効期間 (終了)	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日はJIS X 0301に基づき yyyy-mm-dd と記述する。 不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
長さ	滅失時に区域線距離の属性「表示文字」で示されている長さ。単位はメートルとし、小数第2位までの値とする。	数値	m	—	小数第2位	1
線番号	道路区域線と区域線距離とを関連させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。 (例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路区域線の場合 入力値： 010400000099010410000100	文字	—	—	24桁	1
告示区分	道路区域線が決定された告示区分の種別。	文字	—	告示区分Code	1桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.2.2.滅失道路境界標（公共座標）

地物名称	滅失道路境界標（公共座標）					
地物定義	滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有するもの。					
原典資料	SHAPE（CSV）データ					
取得基準	道路境界の座標値を取得する。 GM_Pointの座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路の区域の境界を示す点。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
告示日	道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
完了月日	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
境界標調査決裁日	道水路等境界標調査の決裁年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
X座標	道路境界標の測量成果のX座標。	実数	m	—	小数第3位	1
Y座標	道路境界標の測量成果のY座標。	実数	m	—	小数第3位	1
事業種別	道路境界標の滅失を行った事業の種別。	文字	—	事業種別 Code	2桁	1
杭種	道路境界標の種別。	文字	—	杭種 Code	2桁	1
管理者	道路境界標の管理者	文字	—	管理者 Code	2桁	1
補正番号	道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2桁）で構成する。年度と通し場番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成22年度、通し番号1の場合 入力値：緑22-01	文字	—	—	—	1

境界調査簿冊番号	道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。 (例) 緑区、1冊、1号の場合 入力値：緑区1冊1号	文字	—	—	—	1
図面番号	道路台帳区域線図 1 図葉の図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁	1
道路境界標番号	道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0詰め7桁とする。 (例) 番号99の場合 入力値：0000099	文字	—	—	7桁	1
入力年度	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。 (例) 昭和63年度の場合 入力値：昭和63年度 (年度の値は半角数字とする)	文字	—	—	—	1
新図郭	道路台帳区域線図 1 図葉の新図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.2.3.滅失道路境界標（任意座標）

地物名称	滅失道路境界標（任意座標）					
地物定義	滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界を示す標識のうち、公共測量成果を有さない任意座標のもの。					
原典資料	SHAPE（CSV）データ					
取得基準	道路境界の座標値を取得する。 GM_Pointの座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路の区域の境界を示す点。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
告示日	道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
完了月日	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
境界標調査決裁日	道水路等境界標調査の決裁年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
X座標	道路境界標の測量成果のX座標。	実数	m	—	小数第3位	1
Y座標	道路境界標の測量成果のY座標。	実数	m	—	小数第3位	1
事業種別	道路境界標の滅失を行った事業の種別。	文字	—	事業種別 Code	2桁	1
杭種	道路境界標の種別。	文字	—	杭種 Code	2桁	1
管理者	道路境界標の管理者	文字	—	管理者 Code	2桁	1
補正番号	道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2桁）で構成する。年度と通し場番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成22年度、通し番号1の場合 入力値：緑22-01	文字	—	—	—	1

境界調査簿冊番号	道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。 (例) 緑区、1冊、1号の場合 入力値：緑区1冊1号	文字	—	—	—	1
点番号	道路境界標を識別するための番号。番号は先頭0詰め6桁とし、頭にNを付与する。 (例) 番号99の場合 入力値：N000099	文字	—	—	7桁	1
図面番号	道路台帳区域線図1図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.2.4.滅失図上点（公共座標）

地物名称	滅失図上点（公共座標）					
地物定義	滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、測量計算により求められたもの。道路境界標は設置されていない。公共測量成果を有する。					
原典資料	SHAPE（CSV）データ					
取得基準	図上点の座標値を取得する。 GM_Pointの座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路の区域の境界を示す点。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
告示日	道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
完了月日	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
境界標調査決裁日	道水路等境界標調査の決裁年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
X座標	図上点の測量成果のX座標。	実数	m	—	小数第3位	1
Y座標	図上点の測量成果のY座標。	実数	m	—	小数第3位	1
事業種別	道路境界標の滅失を行った事業の種別。	文字	—	事業種別 Code	2桁	1
管理者	道路境界標の管理者	文字	—	管理者 Code	2桁	1
補正番号	道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2桁）で構成する。年度と通し場番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULL とする。 （例）緑区、平成22年度、通し番号1の場合 入力値：緑22-01	文字	—	—	—	1

境界調査簿冊番号	道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。 (例) 緑区、1冊、1号の場合 入力値：緑区1冊1号	文字	—	—	—	1
図面番号	道路台帳区域線図 1 図葉の図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁	1
道路境界標番号	折れ点を識別するための番号。番号は先頭0詰め7桁とする。 (例) 番号99の場合 入力値：0000099	文字	—	—	7桁	1
入力年度	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年度。年度は和暦で記述する。 (例) 昭和63年度の場合 入力値：昭和63年度 (年度の値は半角数字とする)	文字	—	—	—	1
新図郭	道路台帳区域線図 1 図葉の新図郭番号。 大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.2.5.滅失図上点（任意座標）

地物名称	滅失図上点（任意座標）					
地物定義	滅失した、道路法による道路の区域とその他の区域の境界線の折れ点のうち、公共測量座標を有さない任意座標のもの。道路境界標は設置されていない。					
原典資料	SHAPE（CSV）データ					
取得基準	図上点の座標値を取得する。 GM_Pointの座標は、道路区域線の始点ないしは終点の座標と一致しなければならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
形状	道路の区域の境界を示す点。				点	1
時間属性						
属性名称	属性定義				データ型	個数
データ有効期間（開始）	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
データ有効期間（終了）	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。				文字	1
告示日	道路境界の告示年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
完了月日	横浜市道路局道路調査課の決裁が終了した入力年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
境界標調査決裁日	道水路等境界標調査の決裁年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、NULL とする。				文字	1
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
X座標	図上点の測量成果のX座標。	実数	m	—	小数第3位	1
Y座標	図上点の測量成果のY座標。	実数	m	—	小数第3位	1
事業種別	道路境界標の滅失を行った事業の種別。	文字	—	事業種別 Code	2桁	1
管理者	道路境界標の管理者	文字	—	管理者 Code	2桁	1
補正番号	道路境界の補正番号。区名、年度（和暦）、通し番号（2桁）で構成する。年度と通し場番号はハイフンで接続する。存在しない場合は、NULLとする。 （例）緑区、平成22年度、通し番号1の場合 入力値：緑22-01	文字	—	—	—	1
境界調査簿冊番号	道水路等境界調査の簿冊番号。区名、冊番、号番で構成する。存在しない場合は、NULLとする。 （例）緑区、1冊、1号の場合 入力値：緑区1冊1号	文字	—	—	—	1

点番号	折れ点を識別するための番号。番号は先頭0詰め6桁とし、頭にNを付与する。 (例) 番号99の場合 入力値：N000099	文字	—	—	7桁	1
図面番号	道路台帳区域線図1図葉の番号。大メッシュ番号と小メッシュ番号で構成する。 (例) 大メッシュ番号：10、小メッシュ番号：40の場合 入力値：10-40	文字	—	—	3~6桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						
その他						

4.2.6.滅失道路境界標間距離表示線

地物名称	滅失道路境界標間距離表示線					
地物定義	滅失した、2つの道路境界標を結ぶ直線。					
原典資料	SHAPE (CSV) データ					
取得基準	2つの道路境界標または図上点を結ぶ直線を取得する。 GM_Curve の始点および終点の座標は、道路境界標または図上点の座標と一致しなければならない。また、道路境界標間距離表示線に中間点は存在してはならない。					
空間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
形状	2つの道路境界標または図上点を結ぶ直線の形状。	線	1			
時間属性						
属性名称	属性定義	データ型	個数			
データ有効期間 (開始)	オブジェクトが存在しうる最初の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
データ有効期間 (終了)	オブジェクトが存在しうる最後の年月日。 年月日は JIS X 0301 に基づき yyyy-mm-dd と記述する。不明の場合は、2999-12-31 とする。	文字	1			
主題属性						
属性名称	属性定義	型	単位	値域	様式	個数
長さ	滅失時の区域線距離の属性「表示文字」で示される長さ。単位はメートルとし、小数第4位を切り捨て小数第3位を四捨五入した小数第2位までの値とする。	数値	m	—	小数第2位	1
線番号	道路境界標間距離表示線と道路境界標間距離とを関連させるための番号。本製品仕様書で定義する道路境界標の始点、終点の番号および図郭番号の24byteで構成する。 (例) 010-40 の図郭にある道路境界標番号99と010-41の図郭にある100を結ぶ道路境界標間距離表示線の場合 入力値： 010400000099010410000100	文字	—	—	24桁	1
告示区分	道路区域線が決定された告示区分の種別。	文字	—	告示区分 Code	1桁	1
地物の地域的範囲	横浜市全域					
地物の用途・使用法						

5.定義域

定義域 1：告示区分

告示区分	値
新設道路（横浜市）	1
道路敷	2
廃止道路	3
水路敷	4
新設道路（国道）	5
水路の所管替	6
廃止水路	7
青地	8
誤表示	9

定義域 2：事業種別 Code

事業種別	値
現況補正	1
境界調査	2
道路移管	3
国土調査	4
14条地区	5
誤表示	6
その他	99

定義域 3：杭種 Code

杭種	値
石	1
鋳物	2
プレート	3
鋳	4
刻	5
プラスチック杭	6
印・ペンキ	7
その他	99

定義域 4：管理者 Code

管理者	値
横浜市	1
横浜市道路	2

管理者	値
横浜市河川	3
横浜市公園	4
横浜市下水	5
横浜市水道	6
横浜市交通	7
横浜市建築	8
横浜市学校	9
国土交通省	10
厚生労働省	11
総務省	12
防衛省	13
神奈川県	14
町田市	15
川崎市	16
鎌倉市	17
逗子市	18
藤沢市	19
大和市	20
横須賀市	21
東京電力	22
東京ガス	23
日本電信電話 (NTT)	24
JR (JR東日本、JR東海、国鉄)	25
相模鉄道	26
東京急行	27
京浜急行	28
日本道路公団	29
東日本高速道路	30
中日本高速道路	31
首都高速道路	32
独立行政法人都市再生機構	33
市住宅供給公社	34
県住宅供給公社	35
区画整理等	36
行政界	37
国土調査	38
民間	99